

飼料用米に取り組んで、収入額を確保しましょう！

主食用米の状況は以下のとおりです。

主食用米として作付けた稲を飼料用米に振り替えて、収入額を確保しましょう！

- 民間の在庫見込みは、昨年より10万トン多い230万トン
220万トン(平成26年6月) → 230万トン(平成27年7月)
- 国内の需要量は毎年8万トンずつ減少
- 今年産の米価の重要な指標となるコメの先物取引の価格は、昨年とほぼ同額で、低調に推移

- ◆市町村から国への申請期限は、7月末までです。飼料用米への振り替えは早めに市町村へ相談してください。
- ◆飼料用米の産地交付金、国・県・市町村の助成金が入金するまでの資金繰り(肥料・農薬・資材等の経費支払い)については、最寄りのJAにご相談下さい(低利のつなぎ資金等をご用意しています)。

飼料用米の取組シミュレーション

試算の条件

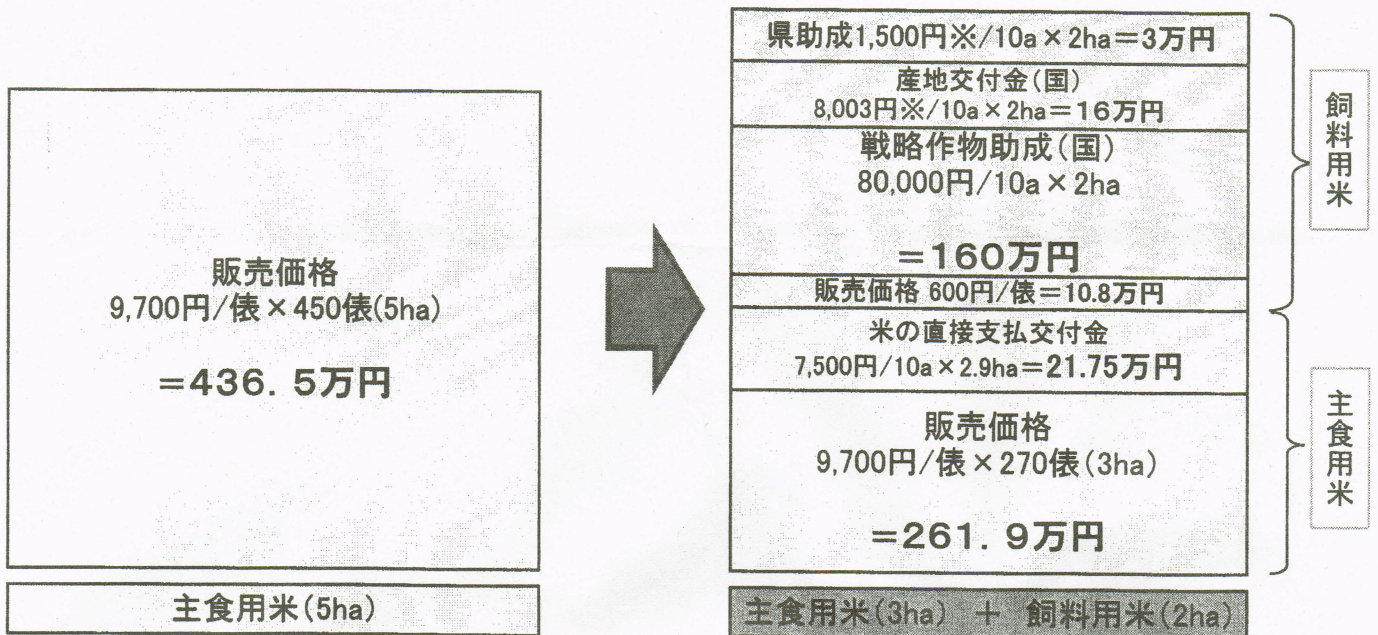
- ・水田の経営規模 5 ha(全量コシヒカリを栽培)
- ・生産数量目標(面積換算) 3 ha(転作率40%)
- ・10a当たり収量 9 俵(540kg)
- ・主食用米販売価格 9,700 円/俵
- ・飼料用米販売価格 600 円/俵
- ・地域の標準単収値を540kgと設定

パターン1

全量を主食用米で生産

パターン2

生産数量目標に従って主食用米を生産し、残り2haを主食用米を飼料用米に振り替えた場合



収入額 4,365,000円

収入額 4,734,500円

差 369,500円

※県助成、産地交付金は平成26年産の実績で試算しています。